

## 研究課題名

透析患者におけるクレアチニン/シスタチン C 比 (Cre/CysC ratio) のサルコペニア診断に対する有用性について

## 研究責任者の氏名

矢島隆宏

## 共同研究者の氏名

荒尾舞子

## 研究の概要

目的: 透析患者において、サルコペニアが生命予後に悪影響を及ぼすことが知られています。サルコペニアの診断には、生体インピーダンス法による筋肉量の低下と握力による筋力の低下を評価する必要があり、容易ではありません。既報によると、糖尿病や透析に至っていない慢性腎臓病患者において、クレアチニン/シスタチン C 比 (Cre/CysC ratio) が、筋肉量低下や筋力低下の指標となることが報告されています。しかしながら、透析患者においては、Cre/CysC ratio が筋肉量や筋力の指標になり得るか否かは検討されていません。そこで、維持透析患者において、年一回の定期検査結果をもとに、Cre/CysC ratio がサルコペニアの診断に有効であるか否か検討します。

対象と方法: 2020 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、当院外来にて維持透析患者さんのうち、年一回の定期検査にて、生体インピーダンス法にて筋肉量と握力測定計にて握力を測定し得た患者さんを対象とします。電子カルテから、身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ(Cre、CysC を含む)、生体インピーダンス法により得られた体組成などのデータを収集します。本研究では、アジアのサルコペニアガイドラインを参照し、筋肉量低下(男性 skeletal muscle index (SMI) <7.0kg/m<sup>2</sup>, 女性 SMI <5.7kg/m<sup>2</sup>)と筋力低下(男性 <28kg、女性 <18kg)のいずれも認める症例をサルコペニアと診断します。そこで、Cre/CysC のサルコペニアの診断能を評価します。

研究に関する記録は、研究終了後 5 年間保存した後に消去します。なお、研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報公開されることは一切ありません。

## 利用する情報の項目

身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、生体インピーダンス法により得られる体組成のデータなど

利用するものの範囲

医師： 矢島隆宏、荒尾舞子

連絡先

松波総合病院 腎臓内科 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711